



社会福祉法人 岡山こども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいわ児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家

〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704

新型コロナの影響で生活様式がいろいろと変化してきている今日、人の集まる場所へ行きづらい日が続きます。“そんな時は自宅で DVD 鑑賞”と久しぶりに私の好きなジブリ作品「風の谷のナウシカ」を観ました。

この作品の中に、蟲に襲われそうになったキツネリスのテトが生死の境で旅人ユパに助けられようやく難を逃れた後、主人公ナウシカと出会うシーンがあります。ナウシカがともだちになろうと手を出しますが、指を噛まれてしまいます。その時ナウシカはぐっと痛いのを我慢し平然と「ほら、怖くない。」と言うのです。するとそれまで怯えて攻撃的だったキツネリスの表情がスーッと穏やかになり、指を舐めはじめナウシカに心を許していきます。大好きなシーンです。

私はこのキツネリス・テトの姿を、こどもたちの姿に重ねることがあります。特に、自分の気持ちを具体的に表現しにくいこどもは、不安からイライラしたり、攻撃的になったり、反対に口を閉ざしたりする姿がよくみられます。

相談支援で担当しているこどもさんで、4月から小学1年生、ご自宅の事情で引っ越し等も重なりながらも生活が一変し小学校や事業所では暴言を吐く、他児童とけんかをする、自宅では兄弟げんかが絶えない日々が続くお母さんも困っておられたケースがありました。環境の変化による不安の表れなのではないかと事業所や学校で何とか不安を取り除けるようにと関係づくりから始められました。また見通しが立ちやすく安心して生活をしていける環境づくり等にも取り組んでいかれました。すると今ではずいぶん落ち着いて学校や事業所での生活が楽しめるようになってきたとのことでした。

私は、こどものマイナスの行動を見たとき、一番しんどいのはこども自身にあると思います。そして「大丈夫、私たちはいつもあなたの味方だから。」とドンと構え、次への手立てを考えていける存在でありたいと思っています。憧れのナウシカにいつか近づけますように。



ほら、怖くない

相談支援わたぼうし 原田 和江



新田 富由美

食いしん坊の愛犬ココ。袋を開ける音を聞きつけて、いつの間にか隣で尻尾をふって座っています。やはり飼い主に似たのかなあ〜。



松田 枝里子

最近のブームはSNSで水琴窟の音を聞くことです。落ち着いたら全国の水琴窟巡りをしたいです。

あんず	こぶし・かりん	もみじ
8月	8月	8月
21日(金)避難訓練	21日(金)避難訓練	1日(土) 29日(土) 土曜療育(要申込)
		21日(金) 避難訓練
		24日(月)〜28日(金) 誕生会週間
9月	9月	9月
23日(水)〜個別懇談 10月2日(金)まで	23日(水)〜個別懇談 10月2日(金)まで	19日(土)、26日(土) 個別懇談・土曜療育 ※4〜6月、10〜12月生まれの利用児対象
12日・26日(土)閉所日		
根っこの広場共通行事		

ねっこクイズ!

雑学クイズです

かき氷を一気に食べて、頭がキーンと痛くなった時の対処法はどれでしょう。

- ① 目をつぶる
- ② おでこにかき氷の器を当てる
- ③ 頭を左右に揺らす



※答えは来月号に掲載します。

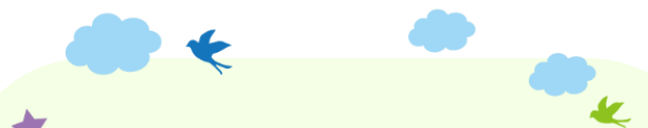
7月号の答え

答えは、土屋でした。ショートカットのアイドルに惹かれたそうですよ。モーニング娘、懐かしいですね〜

編集後記

水あそび・夏野菜・夏祭り活動など、夏ならではの活動をどの施設も楽しんでいます。夏休みが短くても、いろいろな制限があっても、少しでも夏らしさを感じて楽しみたいという職員の思いが伝わります。

信砂 知恵



〇アイドリングストップにご協力ください

送迎時、車のエンジン停止をお願いします。

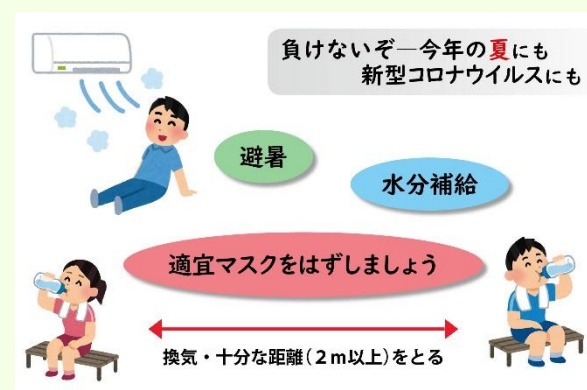
同乗者がおられる場合もありますが、可能な範囲でのご協力をお願いします。



〇マスクの着用を引き続きお願いします。

こどもたちにマスクの着用が定着してきました。

暑い時期ですが、運動時や外あそび時には外すなどしながら、熱中症予防にも努めています。引き続き、マスク着用へのご協力をお願いします。



生きる力を育もう

ホームページ



根っこを育てる みんなの広場

ホームページ



こぶし・かりんの家

『送迎車の洗車』

土曜日、送迎車両の洗車をしました。初めて経験する子どもも多く、楽しみながら作業をする姿が見られました。任されたり、選んだりした作業をやり遂げる達成感も感じられたのではないかと思います。

大森 航輝



ホームページ

あんずの家



『力を合わせて川づくり』

さくらが丘こどもセンターの子どもたちと、力を合わせて川づくりを行っています。同世代の子たちが当たり前集い、一緒にあそびを作る。自然な交流ができることが、生きる力の土台作りにつながればと思います。

平中 健

6年生との会話です。

「先生は、何の時代に生まれたの?」「昭和です」
「えー、3つ(昭和、平成、令和)も生きとるがん。自分は、平成を5年生までしか楽しめなかったわ。残念じゃわ」
お互い、令和もしっかり楽しもうね。

もみじの家

『野菜の収穫』

畑で育てた野菜を収穫しました。興味を持ったようで、何度もにおいや感触を確かめていました。自分たちで穫った野菜は特別で苦手だった野菜も給食のおかずと一緒においしく食べました。

伊丹 智也



もみじサタデー(土曜療育)

こどもたちと一緒に身体を動かしたり、一緒に勉強をしてみたりしています。今後も開催予定です。みなさまのご参加お待ちしております!



ねっこ なんでも紹介



保育所等訪問支援 てつなぎって? 訪問支援員って?



今回は、保育所等訪問支援 てつなぎ・訪問支援員についてご紹介します。

《Q&A》

訪問支援専門員 濱田 敏子

保育所等訪問支援 てつなぎってなんですか?

児童福祉法に基づくサービスで「障害児通所支援」の一つです。保育園・幼稚園・小学校などに通う障がいのある児童について、通っている園・学校等を訪問し、集団生活に適應することができるようアドバイスをしたり、児童を直接支援したりするもので、市が交付する受給者証が必要です。保護者からの申請により訪問します。

訪問支援員ってどんなお仕事ですか?

「保育所等訪問支援計画(保護者とともに作成したもの)」に基づき、実際に児童が集団あるいは個別で活動している場に訪問させていただき、園・学校の先生たちと支援について話し合いをします。

この仕事をしていてよかった~と感じるのはどんな時ですか?

児童が集団生活に適應できるように という保護者の願いをくみ取りつつ先生たちと協議していく中で、先生たちが「やってみます!」と明るい笑顔になられたときや報告をさせていただいた保護者の方が「我が子が成長しました」「様子を聞いて安心しました」などの言葉を言うときです。